

子ども・子育て関係施策の実施状況（抜粋）

公民連携子どもの居場所「子ども LOBBY」の運営

基本目標3：子育て家庭を地域のみんで支える環境づくり
基本施策4：子どもの未来応援施策の推進
個別施策：子どもを真ん中においたネットワークづくり

支援が必要な子どもの早期発見・支援に取り組み、子どもの貧困の連鎖を断ち切ることや、貧困に陥らないよう未然に防ぐことを目的として、公民連携子どもの居場所「子ども LOBBY」において子どもの見守りを行っています。

子どもの居場所及び保護者の相談の場に加えて、保護者や子育て関係者等に向けた非認知能力向上プログラムの実施や、不登校児童支援、企業等と連携したキャリア教育イベントを実施しています。

子ども LOBBY の利用状況（令和5年度）

○来場者数：2,388名　○保護者相談：6名　○非認知能力向上プログラム：30名　○不登校児童支援：8名
○キャリア教育イベント　実施回数：36回、参加者数：376名（申込者数：994名）



父親と子どもが参加する「パパびよ」を開催

基本目標2：安心して子どもを産み育てることができる環境づくり
基本施策5：子育てと仕事の両立のための環境整備
個別施策：父親の育児参加の推進

父親の育児参加の促進を目的として、父親と子どもが参加する交流会「パパびよ」を地域子育て支援センター『ひよこる〜む』で開催し、24組（66名）の親子が、ふれあい遊びやバルーンを使った遊び等を行いました。

参加した父親からは「家庭以外での子どもの姿を見ることができて面白かった」「年上の子の遊ぶ姿を見て、大きくなったらこんな風に遊べるんだと楽しみになった」などの意見をいただきました。

令和6年度も5月下旬に開催しましたが、2回目の開催の要望も多くあり、再度の実施に向けて検討を進めています。

イベント当日の様子



小中学校における個に応じた学びの支援を拡充

基本目標 1：一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり
基本施策 4：障がいのある子どもや配慮が必要な子どもへの支援
個別施策：障がいのある子どもや配慮が必要な子どもへの教育・保育の充実

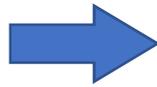
読むことに困難さがある子どもの学びを支援するため、通級担当者連絡会や支援教育コーディネーター連絡会等を通じ、各校において音声教材「デージー教科書(※1)」の普及に努めました。「デージー教科書」は、これまで各学校で個別に申請を行い利用していましたが、今回、市教育委員会にて一括申請を行ったことにより、全小中学校で利用できるようになりました。

また、配慮が必要な児童生徒が、その程度に応じた指導を受けられる通級指導教室を新たに6校に開設し、砂子小学校を除く(※2)すべての小中学校に設置することができ、どの学校でも通級指導を受けられるようになりました。

通級指導教室の設置状況

令和4年度

小学校：14校中9校
中学校：6校中4校



令和5年度

小学校：14校中13校
中学校：6校中6校

(※1)デージー教科書とは・・・ハイライトされたテキストと、音声、画像が同時に表示され、どこを読んでいるかが確認できるデジタル教科書。

(※2)砂子小学校は統合に向け、令和5年度の2学期から脇田小学校の敷地内に移転していたため、脇田小学校の通級指導教室で対応していました。

企業と連携した環境学習を実施

NEW

基本目標 1：一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり
基本施策 2：子どもの教育環境の充実
個別施策：学校教育における教育内容の充実

例年、市内の小学4年生を対象に実施している門真市クリーンセンターでの環境学習に加え、令和5年度は株式会社セブン-イレブン・ジャパンによるリサイクルや食品ロスに関する出張授業を実施しました。

出張授業は希望のあった小学校4校で実施し、受講した約170名の児童が「てまえどりポップ」を作成しました。優秀作品となった7点は「食品ロス削減月間」である10月から11月まで門真市内のセブン-イレブン14店舗で掲示されました。

今後も環境学習で連携できる企業の拡充に向けて検討を進めています。

出張講義の様子



実際に掲示された「てまえどりポップ」



(仮称)浜町みらい公園の整備に向けてワークショップを実施

基本目標 1 : 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり
基本施策 5 : 子どもが安全・安心に過ごせるまちづくり
個別施策 : 公園等の整備

令和 8 年度の開園をめざしている「(仮称)浜町みらい公園」に地域や子育て世帯の意見を反映させるため、「公園づくりワークショップ」を実施しました。

ワークショップには大人だけでなく子どもも参加し、公園の利用イメージやコンセプト、公園に必要なルールやマナーなどを話し合いました。

子どもから大人までの様々な意見を取りまとめ、誰もが心地よく快適に、安心して使える公園の整備に向けて計画を進めています。

ワークショップの様子

